

令和6年10月教育委員会議定例会 議事日程

日 時 令和6年10月25日（金）

午前9時30分より

場 所 町民センター 2Aクラブ室

1 開会宣言

2 署名委員の指名

3 教育長事務報告

4 付議事項

- (1) 議案第16号 令和7年度二宮町公立学校教職員人事異動方針（案）について
- (2) 議案第17号 令和6年度（令和5年度施策・事業対象）二宮町教育委員会点検及び評価報告書（案）について

5 報告・協議事項

- (1) 二宮町特別支援教育就学奨励費交付要綱の一部を改正する要綱について
- (2) 二宮町学校給食費取扱い要綱の一部を改正する要綱について
- (3) 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について
- (4) 拠点校方式による部活動について
- (5) その他

＊ 次回教育委員会議予定

6 閉会宣言

令和6年10月定例教育委員会議 教育長事務報告

(R6.9.27～R6.10.24)

月	日	曜日	内 容
9	27	金	定例教育委員会議
			教育委員学校訪問（二宮西中学校）
9	28	土	社会福祉大会・ふれあい福祉のつどい
9	30	月	防災会議
			副町長退職辞令交付式
10	1	火	副町長辞令交付式
			教育委員辞令交付式
			政策会議
10	2	水	小中学校校長会
			施設一体型小中一貫教育校設置研究会
10	3	木	小中学校教頭会
10	4	金	神奈川県町村教育長幹事会・総会（愛川町）
10	5	土	小・中学校研究発表会（横浜国立大学付属鎌倉中学校）
10	8	火	ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい反省会
			NIELA 来庁
10	11	金	社会教育委員会議
10	15	火	政策会議
			表彰審査委員会
10	16	水	教育支援委員会
10	17	木	中地区教職員組合予算交渉会
10	19	土	一色小学校運動会
10	20	日	にのみや気候市民会議
10	22～24	火～木	全国児童養護施設長研究協議会（金沢市）

10 月政策会議結果報告

令和 6 年 10 月 1 日（火）開催分

【町長あいさつ】

今後、進めていかなければならない事業、災害対策に取り組んでいく必要があるので進めていく。

【主な付議案件】

- 1 広報にのみやのページ数削減について（政策部）
 - ・DXによるデジタル媒体への移行、配布に係る地区負担の軽減等のため、「広報にのみや」の発行ページを削減する。現在の16ページから12ページとし、特集記事を4ページから2ページ、毎月コーナーを設けていた「生涯学習ガイド」、「健康づくりガイド」、「未来づくりガイド」を廃止して、お知らせ記事に掲載するほか、町公式LINEへ切り替えて対応する。
 - ・移行時期は、令和7年5月号（4月25日発行）を目途に進めていく。

【情報交換】

- 特になし

令和 6 年 10 月 15 日（火）開催分

【町長あいさつ】

次年度予算の作成に取り組んでいるところと思うが重点施策・事業の実現に尽力すること。

【主な付議案件】

- 1 ノーネクタイ等の働きやすい服装での勤務の実施について（総務部）
 - ・現在、5月1日～10月31日の間、ノーネクタイを実施しているが、期間を定めることなく気候状況等にあわせた服装（いわゆるノーネクタイ）で執務にあたることを試行として実施する。
 - ・11月1日から令和7年4月30日までを試行期間とし、その期間中に、職員アンケートを行い、本格導入に関する意見聴取を実施する。

【情報交換】

- 特になし

教育総務課・教育指導課事業報告

事業報告

(令和6年9月28日～令和6年10月24日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
10月2日	水	小・中学校長会 にのみや学園連絡会	町民センター	14
10月2日	水	施設一体型小中一貫教育校設置研究会	町民センター	25
10月3日	木	小・中学校教頭会	町民センター	14
10月4日	金	特別支援教育担当者会	オンライン	26
10月4日	金	小学校英語教育研修会	二宮小学校	-
10月11日	金	秋麗祭	二宮西中学校	-
10月12日	土	汐鳴祭・文化の部	二宮中学校	-
10月16日	水	二宮町教育支援委員会	町民センター	23
10月19日	土	一色小学校運動会	一色小学校	-
10月22日	火	伊勢原市議会教育福祉常任委員会勉強会	伊勢原市役所	-
10月23日	水	二宮町図書館・学校図書館連絡会議	山西小	12
10月24日	木	にのみや学園 小中交流会	二宮中・二宮西中	-

事業予定

(令和6年10月25日～令和6年11月27日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
11月6日	水	にのみや学園 特別支援学級交流会	町立体育館	-
11月7日	木	幼保小児童園児交流会	二宮小	-
11月7日	木	教育委員訪問	一色小	-
11月8日	金	二宮小学校就学時健康診断	二宮小学校	-
11月8日	金	小学校芸術鑑賞会（小小交流会）	ラディアン	-
11月14日	木	幼保小児童園児交流会	3小学校	-
11月15日	金	一色小学校就学時健康診断	一色小学校	-
11月22日	金	山西小学校就学時健康診断	山西小学校	-
11月25日	月	小・中学校長会 にのみや学園連絡会	町民センター	14

学校給食センター

事業報告

(令和6年9月28日～令和6年10月24日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
10月30日	水	納入物資業務監査	給食センター	6

事業予定

(令和6年10月25日～令和6年11月27日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
11月1日	金	【地場産デー（二宮産バージョン）】 栄養士食育放送	二宮西中学校	-
11月6日	水	特別支援学級交流会おやつ給食	給食センター	—
11月18日	月	二宮小学校2年生給食センター見学	給食センター	100
11月27日	水	納入物資業務監査	給食センター	5

生涯学習課事業報告

(令和6年9月27日～10月24日)

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	定員	出席者/人数	担当班
9/30	月	放課後子ども教室（一色小⑥）	一色小学校	79人	66人	学習
10/1	火	町民大学講座『水墨画始めてみませんか！』 全4回 10/8, 10/22, 10/29	ミーティングルーム1	15人	17人	学習
10/2	水	ブックスタート	保健センター	13組	13組	図書館
10/4	金	町民大学講座『あなたを守るサイバーセキュリティの世界』	ミーティングルーム2	30人	22人	学習
10/4	金	放課後子ども教室（山西小2, 4, 6④）	山西小学校	79人	72人	学習
10/5	土	町民大学講座『天文学に親しもう』	ミーティングルーム2	30人	26人	学習
10/7	月	放課後子ども教室（一色小⑦）	一色小学校	79人	63人	学習
10/9	水	第4回スポーツ推進委員連絡協議会	ミーティングルーム2	20人	15人	スポーツ
10/9	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	—	5組 (10人)	図書館
10/11	金	社会教育委員会議	ミーティングルーム1	8人	7人	学習
10/11	金	放課後子ども教室（山西小1, 3, 5⑤）	山西小学校	74人	58人	学習
10/17	木	第67回二宮町文化祭 展示の部 ～11/13（水）	ラディアン	—	—	学習
10/18	金	二宮小学校2年生見学	図書館	106人	106人	図書館
10/19	土	おはなし会	図書館	—	8組 (23人)	図書館
10/19	土	第3回青少年指導員連絡協議会	ミーティングルーム2	19人	9人	学習
10/24	木	町民大学講座『電磁波問題を考える』	ミーティングルーム2	30人	11人	学習
10/24	木	20歳のつどい実行委員会	ミーティングルーム2	33人	26人	学習

生涯学習課事業予定

(令和6年10月25日～11月27日)

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	開始時間	担当班
10/25	金	わらべうたであそあぼう！	図書館	10:00	図書館
10/26	土	文化祭「芸能大会」	ラディアン ホール	11:00	学習
10/26	土	ふたみ記念館常設展「静物×麦たち」 前期 令和7年6月1日まで 後期 令和7年6月4日から10月19日まで	ふたみ記念館	10:00	学習
10/27	日	第50回民俗芸能のつどい	ラディアン ホール	10:00	学習
10/27	日	スポーツフェスティバル	二宮小学校 他	10:00	スポーツ
10/28	月	放課後子ども教室（一色小⑧）	一色小学校	14:30	学習
10/31	木	一色小学校2年生見学	図書館	10:00	図書館
11/3	日	文化祭「合唱祭」	ラディアン ホール	13:30	学習
11/9	土	祭り@西中 (二宮西中学校運営協議会主催事業)	二宮西中学校	13:00	学習
11/9	土	土曜日のちいちゃいおはなし会	図書館	10:30	図書館
11/11	月	放課後子ども教室（二宮小1, 3, 5⑨）	二宮小学校	14:30	学習
11/13	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	10:30	図書館
11/14	木	町民大学講座『近代の歌人について』 3回講座 11/21, 11/28	ミーティングルーム2	13:30	学習
11/14	木	山西小学校2年生見学	図書館	午前予定	図書館
11/15	金	ミュージアムズリレー	ふたみ記念館	10:00	学習
11/15	金	わらべうたであそあぼう！	和室	10:00	図書館
11/15	金	放課後子ども教室（山西小1, 3, 5⑥）	山西小学校	14:30	学習
11/16	土	おはなし会	図書館	10:30	図書館
11/16	土	にのっこデイキャンプ（子育て連主催事業）	東京大学果樹園跡地	13:00	学習
11/17	日	(仮) ミニリサイクルコーナー (※ふるさとまつり開催日に館内に設置)	図書館	—	図書館
11/18	月	放課後子ども教室（一色小⑨）	一色小学校	14:30	学習
11/19 11/23	火 土	わらべうたであそあぼう！＜入門編＞	和室	10:00	図書館
11/22	金	社会教育委員会議	ラディアン	13:30	学習
11/25	月	放課後子ども教室（二宮小1, 3, 5⑩）	二宮小学校	14:30	学習

議案第 16 号

令和 7 年度二宮町公立学校教職員人事異動方針について

令和 6 年 1 0 月 2 5 日提出

二宮町教育委員会
教育長 和田 智司

〔提案理由〕

令和 7 年度二宮町公立学校教職員人事異動方針について、円滑な人事異動をはかるため、提案する。

令和7年度二宮町公立学校教職員人事異動方針

二宮町教育委員会は、学校の適正な運営を確保することにより、教育本来の目的を達成するため、人事異動にあたっては、次の事項を基本として教職員の適正な配置に努めるものとする。

- 1 適材を適所に配置する。
- 2 広域的視野に立って人事交流を行い、教職員の編成を刷新強化する。
- 3 全体的視野に立って、教職員構成の均衡を図る。

議案第 17 号

令和 6 年度（令和 5 年度施策・事業対象）二宮町教育委員会点検及び評価報告書
（案）について

令和 6 年 1 0 月 2 5 日提出

二宮町教育委員会
教育長 和田 智司

〔提案理由〕

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 7 条の規定、及び「二宮町教育委員会点検及び評価実施規則」に基づき、教育委員会における事務の管理及び執行状況について点検・評価を行うため提案する。

令和6年度（令和5年度施策・事業対象）

二宮町教育委員会点検及び評価報告書

令和6年（2024年）10月

二宮町教育委員会

目次

はじめに	1
------	---

第1章 総論	3
--------	---

第2章 教育委員会における主要事業 点検評価	6
------------------------	---

■各施策及び評価担当課一覧

※教育指導課（令和5年度は教育総務課指導班）

<u>大綱・基本方針 1 豊かな人間性と社会性を育むとともに、自ら考え生きる力を育てます</u>			
基本的な方向性 ① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成			
(1) 自ら学ぶ力を養うための教育の推進	教育指導課	6	
基本的な方向性 ② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進			
(1) 小中一貫教育の推進	教育指導課	8	
(2) コミュニティ・スクール運営の促進	教育指導課	10	
基本的な方向性 ③ 学校教育に関する情報発信の強化			
(1) 情報発信の強化	教育総務課	11	
<u>大綱・基本方針 2 未来に向けた学習環境と安心して学べる教育環境づくりを進めます</u>			
基本的な方向性 ① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備			
(1) 支援が必要な児童生徒への対応の充実	教育指導課	12	
(2) 教職員の働き方改革の推進	教育総務課	14	
(3) 教職員の指導力の向上	教育指導課	16	
(4) 安心して学べる学校施設の整備	教育総務課	18	
基本的な方向性 ② 安全・安心な学校づくりの推進			
(1) 健康・安全教育の充実	教育総務課	19	
	教育指導課		
基本的な方向性 ③ 将来に向けた特色ある学校づくりの推進（再掲 1-②）			
<u>大綱・基本方針 3 町民が主人公となる、文化やスポーツなど生涯学習の振興を進めます</u>			
基本的な方向性 ① 生涯学習の振興			
(1) 社会教育事業の推進	生涯学習課	20	
(2) 図書館事業の推進	生涯学習課	21	
(3) 二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供	生涯学習課	23	
基本的な方向性 ② 社会教育施設の管理運営			
(1) 各施設の適切な維持管理と運営	生涯学習課	25	
基本的な方向性 ③ 社会教育に関する情報発信の強化			
(1) 情報発信の強化	生涯学習課	26	

第3章 外部評価意見	27
------------	----

参考資料	33
------	----

はじめに

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会において毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務づけられました。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定、「二宮町教育委員会点検及び評価実施規則」及び、「二宮町教育委員会点検及び評価実施要領」に基づき作成したものです。

1 点検及び評価の趣旨

- (1) 教育委員会が管理及び執行する事業の取り組み状況について、点検及び評価を実施することにより、より効果的・効率的な教育行政の推進を図ります。
- (2) 毎年、点検及び評価を実施することで、変化する社会経済情勢に明確に対応するとともに、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用します。
- (3) 報告書を議会へ提出し、町民へ公表することにより、町民への説明責任を果たし、町民との信頼関係を保ちます。

2 点検及び評価の対象施策・事業

町の教育の総合的な指針である「二宮町教育大綱」に基づき、該当年度に取り組むべき施策及び主な事業を各年度の「二宮町教育委員会基本方針」に位置づけ取り組みを進めています。また、基本方針では、教育大綱に掲げた基本理念の達成度合いを測る指標として KGI（重要目標達成指標）を、教育委員会基本方針の施策の進捗を測る指標として KPI（重要業績評価指標）を設定し、KGI と KPI の相関関係を意識しながら施策を推進しています。なお、指標の設定については、可能な限り成果指標（アウトカム）を前提とし、全国学力・学習状況調査や学校評価など、毎年度数値が図れるものを取り入れています。また、一部の関連施策については、横断的な連携やその効果を意識できるように、同じ指標を設定しているものもあります。

令和 5 年度施策・事業の点検・評価においては、令和 5 年度二宮町教育委員会基本方針に位置づけた施策及び事業を対象にし、KGI 及び KPI の進捗などを踏まえ評価を行っています。

3 点検及び評価の方法

(1) 教育委員会による点検及び評価

対象となる施策・事業の取り組み状況、成果、今後の改善点等をまとめます。

(2) 外部による点検及び評価についての意見

外部から見た検証・意見等を報告書の内容全般についてまとめます。

4 点検及び評価結果の公表等

点検評価終了後、その結果を取りまとめた報告書を二宮町議会に提出するとともに、報告書を町民へ公表します

施策評価シートの見方

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	1－① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成
-------	--------------------------

施策評価

施策	(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進	評価者	教育指導課
施策内容	児童・生徒に基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、各教科における言語活動を基盤とし、学び合いを促進させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育みます。また、英語教育やICT環境を活用した学びを通じて、子どもたちの学びの充実を図ります。さらに、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度等を育てるとともに、特別活動との連携による自主的、実践的な力の育成に努めます。		

主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明
	1	言語活動の充実【重点事業】	－	②想定レベル	学校研究等を軸にして、5校が一体となって推進することができた。
	2	情報活用能力の育成【重点事業】	－	②想定レベル	ICT支援員と連携し、積極的かつ効率的な活用をすすめることができた。
	3	英語教育推進事業【重点事業】	－	②想定レベル	英語の研修会で、小中学校の英語教育の取り組みについて話し合うことができた。
	4	道徳教育・特別活動の充実	－	②想定レベル	9年間を見通しながら活動の充実をすることができた。

重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名		話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	80.5%	80.5%				85.0%	B
		中学校	87.1%	87.1%				90.0%	
	実績	小学校		87.0%					
		中学校		75.3%					
		指標の見直し		全国学力学習状況テストから町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値見直し】					

重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名 週3回以上、授業でICT機器を使用する割合								
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	小学校	63.1%	63.1%				70.0%	A
		中学校	85.1%	85.1%				95.0%	
	実績	小学校		78.4%					
		中学校		95.0%					
	指標の見直し		－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・5校が一体となって取り組むことで、進学・進級してもスムーズに話し合いの授業を行うことができた。 ・ICTの活用率が高まり、個別最適な学び及び協働的な学びが促進され、授業改善につながった。 ・英語の授業の楽しいと感じる児童生徒の割合は全国平均より高く、日々の授業での取り組みの成果が出ている。
	今後の課題	・英語検定奨励金制度の活用が十分ではない。 ・端末更新時期を迎え、ICTの効果的活用に向けて、学校の実情にあったICT環境の評価・見直しが必要。 ・教科特性を踏まえた言語活動の充実とカリキュラム・マネジメント等による魅力ある授業づくりの推進
	改善点及び今後の方向性	・日々の授業改善を進めていくとともに、英語検定奨励金制度を活用して、英検にチャレンジする生徒数を増やしていくことが課題である。また、英語に親しむ機会の充実を目指して、中学で外交流に加えて、小学校でもEnglishDayを設ける。 ・ICTの効果的活用に向けて全職員対象にアンケートを行い、課題やニーズを把握し、今後備方針を定める。 ・カリキュラム・マネジメントにより子どもたちが主体的に取り組めるような課題を設定を行ったり環境をより充実させることで言語活動の充実を図る。
	総合評価	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

二宮町教育委員会基本方針に位置づけられた施策名と施策内容が記載されています。

二宮町教育委員会基本方針に位置づけられた施策に紐づけている予算等事業名が記載されています。（そのうち、重点事業には下線を引いています）

各事業の重要業績評価指標（KPI）の達成に当たっての有効度合を下記の3段階で評価しています。（説明にはその理由を記載しています）
①限定的
②想定レベル
③想定以上

指標の達成状況を記載しています。（上段は計画値及び目標値、下段は実績値）
達成状況を下記の4つの区分で評価しています。
A 達成（100%以上）
B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）
D 未達成（50%未満）

上記の分析結果を踏まえ、施策の取り組みについて、「成果」「今後の課題」「改善点及び今後の方向性」を評価しています。

評価結果を踏まえ、施策の総合評価を下記の4つの区分で評価しています。
A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

第1章 総論

二宮町教育委員会は、効果的・効率的な教育行政の推進を図るため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、「二宮町教育委員会点検・評価報告書」をまとめました。

KGI（重要目標達成指標）の進捗は、基準値と比較し小学校は2.3の上昇、中学校は2.2の減少となっています。中学校の数値は上昇していませんが、事業全体の取組状況等を踏まえ、令和5年度の取り組みは一定の成果を上げたものと評価しました。

評価対象14施策のうち、総合評価「A評価（大いに成果が得られた）」は2事業、「B評価（おおむね適正に取り組んでいる）」は11事業、「C評価（改善する必要がある）」は1事業、「D評価（事業の再検討が必要である）」は0事業という結果となりました。

事業全体としては、一部進捗が芳しくないものもありますが、進捗はおおむね順調であると考えられます。

令和5年度の教育大綱及び教育委員会基本方針の見直しでは、教育大綱に掲げた基本理念の達成度合いを測る指標としてKGIを、教育委員会基本方針の施策の進捗を測る指標としてKPIを設定し、全体を俯瞰して捉えられるシステムに変更しました。新たな評価システムのもと、施策の進捗を数値化し具体的な分析をできるようになった一方で、分析結果をより効果的に次のアクションへつなげられていないという課題が浮き彫りとなりました。

今後は、施策の推進をより実行性のあるものとするため、具体的な取組の表記に努め、取組を内外へ分かりやすく共有するとともに、ステークホルダー（利害関係者）との協働を意識しながら施策の推進を図ります。また、将来の不確実性が高まる中で、時代の変化や影響を的確に捉えていくため、指標は柔軟な視点で定期的に見直し、教育委員会基本方針と点検評価を連動させながら、着実に施策を進めていきます。

今後も、子ども達がこれからの時代を生きるために必要な資質・能力を育み、子どもから大人までのすべての人が「共に学び共に育つ教育」を実現できるよう、点検評価における外部評価等も踏まえながら、より一層の施策の推進を図ってまいります。

OKGI（重要目標達成指標）の進捗状況

学校教育・社会教育

項目	基準値	実績	比較	目標値（令和9年度）
将来に夢や目標を持っている児童生徒（肯定的な回答の割合） 【全国学力・学習状況調査】	小学校 76.9% 中学校 69.6% （令和4年度実績値）	小学校 82.3% 中学校 67.4% （令和5年度実績値）	2.3増↑ 2.2減↓	小学校 85.0% 中学校 75.0%

○二宮町教育委員会について

二宮町教育委員会は、教育長及び4名の教育委員で構成され、教育委員会議において教育に関する規則の制定や重要な事項を審議決定しています。

二宮町教育委員会（令和5年3月31日現在）

職 名	委員名	任 期
教育長	もり ひでお 森 英夫	平成30年12月26日～令和3年3月31日 令和3年4月1日～令和6年3月31日（再任）
教育長 職務代理者	おかの としひこ 岡野 敏彦	平成28年10月1日～令和2年9月30日 令和2年10月1日～令和6年9月30日（再任）
委 員	ふじわら なおひこ 藤原 直彦	令和3年12月23日～令和7年12月22日
委 員	すぎもと かおり 杉本 かおり	令和4年10月1日～令和8年9月30日
委 員	ふるしょう えいじ 古正 栄司	令和5年10月1日～令和9年9月30日

○令和5年度の教育委員会の活動状況

令和5年度については、定例会・臨時会の教育委員会議での審議に当たり、各教育委員が幅広い立場から意見交換を行い、議論を深めました。また、学校訪問や教職員との意見交換等を行い、学校現場の把握と理解に努めました。

事業名等	内容	備考
定例会・臨時会	開催回数12回（定例会12回、臨時会0回） 議案件数71件（付議事項37件、報告・協議事項34件） 傍聴23名	
学校訪問	二宮小学校（令和5年9月29日） 一色小学校（令和5年10月26日） 山西小学校（令和5年11月6日） 二宮中学校（令和5年11月22日） 二宮西中学校（令和5年6月30日）	
教育委員会関係行事	・教職員等辞令交付式（令和5年4月3日） ・教職員等転退職者辞令交付式（令和6年3月29日） ・各種研修	
総合教育会議	開催回数3回 第1回 令和5年5月22日（書面開催） ・総合教育会議のテーマ設定について	

	第2回 令和5年8月24日 ・小中一貫教育について ・不登校対策について ・ICT教育の推進について 第3回 令和6年1月26日 ・部活動の地域移行について ・今後の生涯学習センターのあり方について	
--	--	--

第2章 教育委員会における主要事業 点検評価

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	1－① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成
-------	--------------------------

施策評価

施策	(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進				評価者	教育指導課			
施策内容	児童・生徒に基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、各教科における言語活動を基盤とした学び合いを促進させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育みます。また、英語教育やICT環境を活用した学びを通じて、子どもたちの学びの充実を図ります。さらに、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度等を育てるとともに、特別活動との連携による自主的、実践的な力の育成に努めます。								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明				
	1	言語活動の充実【重点事業】	－	②想定レベル	学校研究等を軸にして、5校が一体となって推進することができた。				
	2	情報活用能力の育成【重点事業】	－	②想定レベル	ICT支援員と連携し、積極的かつ効果的な活用をすすめることができた。				
	3	英語教育推進事業【重点事業】	－	②想定レベル	英語の研修会で、小中学校の英語教育の取り組みについて話し合うことができた。				
	4	道徳教育・特別活動の充実	－	②想定レベル	9年間を見通しながら活動の充実を図ることができた。				
	5	読書機会の充実	－	②想定レベル	中学校では、朝読書を推進することができた。				
	6	学校体育の充実	－	②想定レベル	小中学校の先生で、運動の習慣づくりを行うために計画を立てて実施した。				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名		話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	80.5%	80.5%				85.0%	B
		中学校	87.1%	87.1%				90.0%	
	実績	小学校		87.0%					
		中学校		75.3%					
	指標の見直し		全国学力学習状況テストから町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値見直し】						
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名		自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	65.6%	65.6%				70.0%	B
		中学校	83.5%	83.5%				90.0%	
	実績	小学校		72.2%					
		中学校		78.0%					
	指標の見直し		全国学力学習状況テストから町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】						
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名		週3回以上、授業でICT機器を使用する割合						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	63.1%	63.1%				70.0%	A
		中学校	85.1%	85.1%				95.0%	
	実績	小学校		78.4%					
		中学校		95.0%					
	指標の見直し		－						

重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	92.3%	92.3%				95.0%	A
		中学校	96.9%	96.9%				98.0%	
	実績	小学校		97.2%					
		中学校		95.5%					
	指標の見直し	－							
重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	中学３年生の英検３級取得率							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	中学校	42.6%	42.6%				50.0%	C
	実績	中学校		17.7%					
		指標の見直し	中学３年生のCEFR A1レベル（英語検定３級レベル）相当以上の資格を取得しているまたは、相当以上の英語力を有すると思われる割合【英語教育実施状況調査】に指標を変更する。						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・5校が一体となって取り組むことで、進学・進級してもスムーズに話し合いの授業を行うことができるようになった。 ・ICTの活用率が高まり、個別最適な学び及び協働的な学びが促進され、授業改善につながった。 ・英語の授業の楽しいと感じる児童生徒の割合は全国平均より高く、日々の授業での取り組みの成果が出ている。
	今後の課題	・英語検定奨励金制度の活用が十分ではない。 ・端末更新時期を迎え、ICTの効果的活用に向けて、学校の実情にあったICT環境の評価・見直しが必要。 ・教科特性を踏まえた言語活動の充実とカリキュラム・マネジメント等による魅力ある授業づくりの推進
	改善点及び今後の方向性	・日々の授業改善を進めていくとともに、英語検定奨励金制度を活用して、英検にチャレンジする生徒数を増やしていくことが課題である。また、英語に親しむ機会の充実を目指して、中学での海外交流に加えて、小学校でもEnglishDayを設ける。 ・ICTの効果的活用に向けて全職員対象にアンケートを行い、課題やニーズを把握し、今後の整備方針を定める。 ・カリキュラム・マネジメントにより子どもたちが主体的に取り組めるような課題を設定を行ったり、ICT環境をより充実させることで言語活動の充実を図る。
	総合評価	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和５年度実績）

基本方向性	1－② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進
-------	------------------------

施策評価

施策	(1)小中一貫教育の推進				評価者	教育指導課			
施策内容	子どもたちの資質能力を育成するために、小中学校教員による９年間のカリキュラム研究や、共通性と一貫性をもった学級づくり、授業づくりを推進します。また、施設一体型小中一貫教育校の設置に向け、教育の内容や施設の在り方について研究を進めます。								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明				
	1	小中一貫教育カリキュラム研究の推進【重点事業】	－	②想定レベル	小中学校の教員による共同研究により、カリキュラムの連続性やつながりを意識した教科指導を行えるようになった。				
	2	かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「９年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施	－	②想定レベル	５校全体で共通性と一貫性をもって取り組むことができた。				
	3	施設一体型小中一貫教育校設置に向けた研究【重点事業】	－	②想定レベル	研究会を開催し、提言書作成に向けて、議論を進めることができた。				
	4	郷土理解の促進による郷土愛の育成【重点事業】	－	②想定レベル	総合的な学習の時間を中心に郷土学習を進めることができた。				
	5	小中一貫教育に関する町民への情報提供の促進	－	②想定レベル	各校や役場のHPを通じてにのみや学園の取り組みを発信することができた。				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	学校に行くのは楽しいと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	77.4%	77.4%				80.0%	B
		中学校	84.0%	84.0%				85.0%	
	実績	小学校		81.9%					
		中学校		74.2%					
	指標の見直し	全国学力学習状況テストから町独自調査（小５～中３）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	53.8%	53.8%				60.0%	A
		中学校	60.3%	60.3%				70.0%	
	実績	小学校		62.5%					
		中学校		60.7%					
	指標の見直し	－							

重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	62.1%	62.1%			70.0%	C	
		中学校	58.3%	58.3%			65.0%		
	実績	小学校		59.6%					
		中学校		49.4%					
指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	49.2%	49.2%			55.0%	A	
		中学校	46.4%	46.4%			50.0%		
	実績	小学校		74.5%					
		中学校		62.4%					
指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	小中一貫教育の認知度							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	37.6%	37.6%				50.0%	B	
	中間		42.0%						
指標の見直し	－								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・にのみや学園が開校し、にのみや学園プロジェクトを着実に進めることができた。 ・総合的な学習の時間で、防災やまちづくり、平和、環境など二宮町をテーマにした学習に一貫して取り組むことができた。 ・各校や教育委員会が積極的に情報発信し、にのみや学園の取組を周知することができた。 ・社会科副読本をデジタル化し、全学年で活用できるようにした。郷土学習にも資するツールにもなった。
	今後の課題	・子ども同士の交流については、より高い教育効果を得られるように、対象学年、内容等を研究する。 ・にのみや学園の取り組みが地域に十分伝わっていない。 ・教室での学びを日常生活や地域と関連付けることは深い学びへ導くために必要な手立てとなる。地域とのかかわりを大事にした教育活動を充実させるために、地域学校協働活動推進員と教員との連携を強化することが課題である。
	改善点及び今後の方向性	・保護者や町民も参加する教育講演会で、にのみや学園の取り組みを報告する。 ・にのみや学園プロジェクトを実施する際は、保護者や地域にも参観を呼びかける。また、学校へ行く週間も積極的に周知する。 ・研究会からの提言書を受けて、今後の施設一体型小中一貫教育校設置に向けた流れや事業の進め方と次のアクションを具現化する。 ・学校運営協議会長等情報交換会にて、地域学校協働活動推進員と教員との連携について話題にして、好事例を共有する。
	総合評価	B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和５年度実績）

基本方向性	１－② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進
-------	------------------------

施策評価

施策	(2)コミュニティ・スクール運営の促進						評価者	教育指導課	
施策内容	各学校のコミュニティ・スクールの特色を相互に共有し、更なる活性化を図るとともに、学校運営協議会の円滑な運営により、学校と地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進します。								
主な関連事業	予算等事業名			＜参考＞ 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)			説明	
	1	学校運営協議会の円滑な運営のための支援【重点事業】		－	②想定レベル			情報交換や課題の共有を行うことで、各学校の運営協議会同士で連携を図ることができた。	
	2	地域との連携による児童生徒の活動の促進		－	②想定レベル			地域の人材が学校の教育活動に参加することで教育活動の充実や地域の活性化につながった。	
	3	コミュニティ・スクールに関する町民への情報提供の促進		－	③限定的			学校運営協議会の活動を通し、コミュニティ・スクールの周知を行っているが、認知について高くないため引き続き周知を行っていく必要がある。	
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	地域の大人から授業や放課後などに勉強やスポーツを教えてもらっている児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	30.7%	30.7%				40.0%	評価不可
		中学校	21.1%	21.1%				30.0%	
	実績	小学校		－					
		中学校		－					
	指標の見直し	令和5年度学力学習状況調査において設問が削除されたため、「地域の行事に積極的に参加している児童生徒（肯定的な回答の割合）【学校評価アンケート】」に指標を変更する。							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	21.4%	21.4%				30.0%	B	
	実績		22.9%						
	指標の見直し	－							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・各学校運営協議会の活動が活発に行われるようになってきた。 ・夏休み中に行われた、放課後子ども教室についても小学校毎ではなく3校合同で開催を行うことができた。 ・令和5年度より各学校運営協議会の開催時に同じ中学校グループの協議会委員がオブザーバーとして参加することで、お互いの情報交換等を行い連携出来ることや課題について共有を行っている。
	今後の課題	・各学校の運営協議会の活動が通常に戻っていく中で、協議毎に活動内容や課題があり、地区によっても受け止めに対して温度差がある。そのため、にのみや学園としての学校運営協議会として向かっていく中で、活動内容や課題の共有化、また地域へ活動内容の周知を行いコミュニティスクールの認知を高めて行く必要がある。
	改善点 及び今後の方向性	にのみや学園の学校運営協議会として向かうための活動内容や課題の共有および地域に対してのコミュニティスクールの周知活動を引き続き行っていく。
	総合評価	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上っている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和５年度実績）

基本方向性	1－③ 学校教育に関する情報発信の強化
-------	---------------------

施策評価

施策	(1)情報発信の強化				評価者	教育総務課		
施策内容	地域とともにある開かれた学校づくりを推進するため、学校運営協議会や地域学校協働活動の関係者をはじめ、多様な地域人材との連携を図りながら、学校ホームページ、学校だより、町ホームページや広報紙等の多様な手法により、タイムリーで効果的な情報の継続的な発信に努めます。							
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明		
	1	学校ホームページや町ホームページ、広報紙等の積極的な活用		－	②想定レベル	様々な媒体を活用し、情報発信ができた。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	学校ホームページアクセス回数（5校合計の月平均）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	23,000回	23,000回				25,500回	C
	実績		10,000回					
	指標の見直し	コロナの影響を受けている年度の基準値と実績との乖離を踏まえ、コロナの影響が落ち着いた年度の数値を基準値とする。【基準値・目標値見直し】						
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	学校だより、ホームページなどを通して、学校の様子を保護者に伝えようと努めていると思う保護者の肯定的な割合（5校平均値）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	88.7%	88.7%				95.0%	B
	実績		88.5%					
	指標の見直し	－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	令和２年４月より学校ホームページを開設し、令和３年度は平均23,000回のアクセス数があった。令和４年度は約11,000回、令和５年度は約10,000回と一定のアクセス数はあるものの、アクセス回数は下降してきている現状である。
	今後の課題	学校ホームページにアクセスすることで保護者や地域にとって必要な情報を得られるような工夫をしていながら、開かれた学校運営の情報発信基盤としての安定運用につなげていきたい。
	改善点及び今後の方向性	コロナの影響を大きく受けアクセス回数が多かった令和２年度・３年度ではなく、比較的落ち着いた令和４年度のアクセス回数を基準値とし、継続して取り組んでいく。
	総合評価	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(1)支援が必要な児童生徒への対応の充実				評価者	教育指導課			
施策内容	誰もが安心して通うことができる学校づくりを進めるとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場の確保に努めます。また、学校、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門職や、医療・福祉等の関係機関と連携をとりながら、児童生徒や保護者の思いに寄り添った切れ目のない相談支援体制の充実に努めます。								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明				
	1	教育相談体制（就学相談含む）の充実【重点事業】	－	②想定レベル	SC,SSWの適正配置し、早期発見・早期対応できる体制を整えることができた。				
	2	インクルーシブ教育・支援教育の充実【重点事業】	－	②想定レベル	支援教育補助員の増員、まなびの教室の新設など共に学ぶ仕組みを整えた。				
	3	幼保小連携推進事業	－	②想定レベル	スタートカリキュラムを意識した連携事業を実施することができた。				
	4	支援教育補助員の配置	－	②想定レベル	支援を必要とする児童生徒が増加している状況を踏まえて、3名増員した。				
	5	医療的ケア受入実施体制の確立	－	①想定以上	医療的ケア看護職員を配置して、安心して学べる環境を整備することができた。				
	6	中学校の制服の在り方の検討【重点事業】	－	②想定レベル	アンケートをもとに、今後の制服の方向性を計画立てることができた。				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	誰にも相談していない児童生徒数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	0人	0人				0人	B
		中学校	7人	7人				0人	
	実績	小学校		4人					
		中学校		1人					
	指標の見直し		－						
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	60.0%	60.0%				70.0%	B
		中学校	65.5%	65.5%				70.0%	
	実績	小学校		64.2%					
		中学校		61.8%					
	指標の見直し		全国学力学習状況テストから町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】						
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	新規不登校者数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	5人	5人				5人	C
		中学校	15人	15人				15人	
	実績	小学校		19人					
		中学校		25人					
	指標の見直し		－						

重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名		不登校率						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小 低	0.9%	0.9%				0.9%	C
		小 高	2.1%	2.1%				2.1%	
		中学校	6.2%	6.2%				6.2%	
	実績	小 低		2.0%					
		小 高		3.4%					
		中学校		8.8%					
	指標の見直し		—						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・SCを増員するなど教育相談体制を強化することができた。 ・スクリーニング実施を通して、これまで以上にきめ細かく対応するための仕組みを整えた。 ・まなびの教室、校内教育支援センターの新設など「共に学ぶ、共に育つ」ためのシステムづくりを進めることができた。 ・教育支援室の柔軟な運営について改善を図ることができた。 ・フリースクール等とのネットワーク会議を開催し、学校と関係機関の顔の見える関係づくりをすすめることができた。 ・医療的ケア実施に係るガイドラインに基づき、適切に医療的ケアを実施することができた。 ・幼保小の連携事業を工夫することで、異学年交流の充実を図ることができた。（５年生の参画）
	今後の課題	・町全体で不登校児童生徒は増加し続けている。すべての子どもを対象とした予防的対応とケースに応じた個別対応を組み合わせた重層的支援を行う必要がある。 ・配慮を必要とする児童生徒が増えていることから、子どもたちの学校生活を支える支援教育補助員の増員が不可欠である。 ・通級指導教室、校内教育支援センターの目的や内容を教職員全体で正しく理解して、一人ひとりに合った適切な学びの場を整える必要がある。 ・アンケートの実施回数が増えている。 ・心理検査依頼件数が増加し、現在の体制では対応が難しい。
	改善点 及び今後の方向性	・校内教育支援センターを先行して設置した学校の不登校児童数の増加に歯止めがかかったことから、校内教育支援センターを全校に設置する。 ・心理検査を行うカウンセラーを確保する。 ・アンケートの負担軽減を図りながら実施する。 ・受容的かつ共感的な学級集団づくりを推進する。 ・カリキュラム研究等を通じた魅力ある授業づくりをすすめる。 ・関係機関との連携やICTの活用等を通じた不登校児童生徒との関係づくりを進める。 ・幼保小連携事業の内容の充実を図る。
総合評価		B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和５年度実績）

基本方向性	2－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(2)教職員の働き方改革の推進				評価者		教育総務課		
施策内容	「学校の働き方改革に関する基本方針」に基づき、学校間ネットワークや統合型校務支援システム、タブレット端末等の有効活用を進めるほか、教職員が担うべき業務の適正化についても検討を進め、校務や教材研究等に集中できる時間や児童生徒と向き合う時間の確保に向けた取り組みを推進します。また、勤怠管理システムの活用や部活動の地域移行の推進等により、ワークライフバランスを含むタイムマネジメント等の意識改革を進め、教職員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、やりがいをもって職務に従事できる環境を整備します。								
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明		
	1	働く場としての環境整備【重点事業】		－	②想定レベル		校務支援システムなどのICT環境、SCなどのサポート人材の充実など、職場環境の改善の一助となっている。		
	2	部活動の地域移行に向けた検証【重点事業】		－	③限定的		将来に向けて、部活動における条件の整理を開始できた。		
	3	学校の運営に係る地域人材の活用【重点事業】		－	②想定レベル		地域の方の協力を得て、地域教育力を活用した授業が行えている。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	教職員の時間外勤務の月の平均時間							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	36.3時間	36.3時間				30.0時間	B
		中学校	58.4時間	58.4時間				30.0時間	
	実績	小学校		33.2時間					
		中学校		60.5時間					
	指標の見直し		－						
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	教職員に占める高ストレス者の割合							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画		13.2%	13.2%				10.0%	B
	実績			10.3%					
	指標の見直し		－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・教育相談・支援の充実として、専門的知識を有するSCやSSWを適正に配置し、早期対応を行うことができる環境整備を図った。（R5 SCを小学校に週1日常駐） ・支援が必要な児童生徒一人ひとりのニーズに対応するため、必要となるサポート人材として支援教育補助員を配置した。（R5 3名増員） ・校務支援システム、勤怠管理システム等のICTを活用し、業務の効率化及び業務状況を把握できる環境を整えた。 ・教諭の業務をサポートするために、スクールサポートスタッフを5校全校に1名ずつ配置した。 ・休日の部活動の段階的な地域移行に向け、指導にかかる費用負担や人材確保などの課題を検証する。（R5 各中学校で計3部活で検証）
-----------------------------	----	---

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	今後の課題	・不必要な業務や負担が軽減できそうな業務を洗い出し、対応方法を変える必要がある。（運営体制の見直し、教員をサポートする人材の確保 等） ・保護者から関心の高い分野については、なかなか見直しがしづらい。学校全体の業務の見直しのため、保護者や地域等の合意形成を図りつつ、優先順位を見直す。
	改善点及び今後の方向性	・働き方改革は多岐に渡るため、改善できることから一つ一つ取り組む。また、学校の意見を反映できるよう、校長会や安全衛生推進連絡会などで教職員の意見を聴取するとともに、各校の好事例などを5校に共有し、好循環を生む仕組みを作る。 ・学校現場の現状を保護者や地域と共有できるよう、情報の見える化を図る。そのために、学校だよりやHP、広報紙などの媒体以外にも、会議での紹介等、様々な機会を活用して周知を図る。
	総合評価	

B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和５年度実績）

基本方向性	2－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(3)教職員の指導力の向上					評価者	教育指導課		
施策内容	教職員が児童・生徒への理解を深め、指導と評価の一層の改善・充実を図るとともに、教育にかかわる諸課題に対応して求められる資質や能力を育む授業づくりを行うために、各種研究事業の支援および職層・キャリアに応じた教員研修等の充実を図ります。								
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)			説明	
	1	「教職員授業力向上研究事業」 の推進【重点事業】		－	②想定レベル			各校の状況に合った課題を設定し、授業や研修等を通じて力量形成を図ることができた。	
	2	教育研究所における研修の充実		－	②想定レベル			子どもたちの居場所づくり等教育課題に合った研修内容を組むことができた。	
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名		話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じていると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	80.5%	80.5%				85.0%	B
		中学校	87.1%	87.1%				90.0%	
	実績	小学校		87.0%					
		中学校		75.3%					
	指標の見直し		全国学力学習状況テストから町独自調査（小５～中３）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】						
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名		国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	53.8%	53.8%				60.0%	A
		中学校	60.3%	60.3%				70.0%	
	実績	小学校		62.5%					
		中学校		60.7%					
	指標の見直し		－						
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名		算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	62.1%	62.1%				70.0%	C
		中学校	58.3%	58.3%				65.0%	
	実績	小学校		59.6%					
		中学校		49.4%					
	指標の見直し		－						
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名		先生はよいところを認めてくれていると思うと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	86.7%	86.7%				90.0%	B
		中学校	92.7%	92.7%				95.0%	
	実績	小学校		91.5%					
		中学校		91.0%					
	指標の見直し		－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・不登校支援、スタートカリキュラム、ICT活用など町の教育施策に応じた研修を実施することができた。 ・児童生徒の発達を支持する教員の肯定的なかかわり方が組織的に行えていることが数値にも現れている。また、小学校では、高学年を中心に教科担任制を推進し、教科指導の充実を図るとともに、児童の多面的理解に努めている。「授業がわかりやすい」「先生に話しかけやすい」「いろんな先生がかかわってくれる」ことに肯定的に回答する児童の割合が高まった。
	今後の課題	・<u>働き方改革と教職員研修の両立を図ること。</u> ・<u>多岐に渡る教育課題から必要な課題を厳選すること。</u>
	改善点 及び今後の方向性	・<u>町の教育施策にあった研修内容を今後も計画する。</u> ・<u>教育講演会については、引き続き、町民や保護者にも周知し、町全体で教育課題について理解しを深める機会とする。</u> ・<u>担当者会の位置づけを明確にし、内容の充実を図ることで、担当者の資質・能力が学校運営や町に政策に反映できるように努める。同時に、教職員の資質・能力の向上や学校運営に積極的に参画する態度の育成につなげていく。</u> ・<u>学び方の研究や教科研究を通じて、個別最適な学び及び協働的な学びの一体的な実現を図る。</u>
	総合評価	

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和５年度実績）

基本方向性	2－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(4)安心して学べる学校施設の整備				評価者		教育総務課	
施策内容	「二宮町教育等施設長寿命化計画」（個別施設管理計画）に基づき、学校施設の計画的な修繕・改修を推進し、安全で安心できる教育環境の整備に努めます。							
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明	
	1	長寿命化計画に基づく学校施設等の計画的な改修【重点事業】		－	②想定レベル		Dランク判定の個所を計画的に改修ができた。	
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	「学校施設等現況調査」（令和２年度）におけるDランク判定及び緊急対応箇所の改修割合						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	40.0%	40.0%				100.0%	A
	実績		66.7%					
	指標の見直し	－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<u>Dランク判定 2 1 か所のうち 1 4 か所について、工事又は修繕が完了した。</u> また、教育環境の向上を図るため、令和 5 年度より、特別教室等空調機設置工事に着手し、令和 6 年度の夏季期間から空調機が稼働できるように工事を進めている。
	今後の課題	<u>令和 6 年度以降についても、引き続きDランク判定の個所を中心に、必要な教育環境の整備を実施していく。</u>
	改善点 及び今後の方向性	特別教室等空調機設置工事は、国の交付金を活用できたため、町の財政負担軽減に繋がっている。 <u>引き続きDランク判定を優先順位をつけて工事修繕をしていく。</u>
	総合評価	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2-② 安全・安心な学校づくりの推進
-------	--------------------

施策評価

施策	(1)健康・安全教育の充実					評価者	教育総務課・教育指導課			
施策内容	防災教育や交通安全教育の充実に努めるとともに、二宮町通学路交通安全プログラムに基づき、地域社会全体で児童生徒の安全確保を図ります。また、子どもたちの健やかな成長や将来的に健康な人生を送るための望ましい知識・習慣を身につける保健教育を充実させるとともに、安全でおいしい給食の安定的な提供を通じ児童生徒が食の大切さを学ぶ食育の充実を図ります。									
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明			
	1	安全対策、安全教育		－	②想定レベル		通学の合同点検の実施し、関係機関等による通学路の状況の共有や危険個所の把握を行い、対策等を図った。			
	2	幼保小中一斉引取り訓練		－	②想定レベル		関係機関の協力の下、今年度も予定通り実施することができた。			
	3	学校給食センターにおける取り組み【重点事業】		－	②想定レベル		学期に1回の地場産デーに合わせて栄養士による食育を実施することができた。			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	通学路点検対応箇所数（合同点検実施箇所＋合同点検未実施のうち対策済みの箇所数）								
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況		
	計画	33箇所	33箇所				58箇所	A		
	実績		31箇所							
指標の見直し	－									
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	毎日、朝食を食べている児童・生徒の割合								
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況		
	計画	小学校	94.3%	94.3%				96.0%	B	
		中学校	91.2%	91.2%				93.0%		
	実績	小学校		93.7%						
		中学校		92.7%						
指標の見直し	－									

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・二宮町通学路交通安全プログラムに基づき、各学校の通学路の現状の把握を行い、8月に関係機関と通学路の合同点検を実施し、児童・生徒見守り重点日を設定し見守りを行った。 ・6月に幼保小中の一斉引き取り訓練を実施 ・<u>学校給食において、地場産デーとして6月には二宮産のたまねぎを提供し、7月には無農薬野菜のなす、ズッキーニ、ピーマンを使用した「夏野菜カレー」を提供した。また、10月には二宮町で取れたサバを「サバの竜田揚げ」、2月に二宮産の原木しいたけを使用した「麻婆豆腐」をそれぞれ提供した。また、そこに至る過程で、提供者との綿密な交渉（相談）を重ねることにより、市場と同等の大きさ・品質・価格の地場素材の供給体制を構築することができた。</u> ・<u>地場産デーに合わせて、給食時間を活用し、栄養士が7月には二宮小学校、10月には山西小学校を訪問し、放送を通じて子ども達に給食の魅力をたっぷりと伝え、「食材」を知り、「食」を選択することができる「食育」を実施した。</u>
	今後の課題	・登下校の見守りについて、PTAや地域の方との情報共有 ・<u>給食費の段階的な無償化の検討</u>
	改善点及び今後の方向性	・引き続き、通学路の安全点検を行い危険箇所等の把握に努め対策等を行っていく。 ・<u>令和6年度より中学校の給食費無償化を開始する。</u>
	総合評価	
	A	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3－① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(1)社会教育事業の推進					評価者	生涯学習課		
施策内容	家庭・地域・学校が一体となって、未来を担う子どもたちの成長を支える学校支援、放課後子ども教室等の地域学校協働活動を推進します。 また、各種団体や地域と連携・協力し、町民が学習やスポーツなどの生涯学習活動に取り組む環境づくり、きっかけづくりを進めます。 これらを通じて、青少年の健全育成を図るとともに、様々な人権問題についても研修会等を開催し、人権意識を育みます。								
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明		
	1	コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進【重点事業】		－	②想定レベル		地域学校協働活動推進員を中心に、地域と連携した特色ある活動がなされた。		
	2	各種団体との連携による事業実施、地域における学びの支援		－	②想定レベル		町民大学講座の実施や、地域における学びの充実が進んだ。		
	3	青少年の健全育成【重点事業】		－	②想定レベル		青少年指導員等と連携し、各種事業を実施した。		
	4	人権教育の推進		－	②想定レベル		インターネット空間における人権について考える研修会を実施した。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	地域の大人から授業や放課後などに勉強やスポーツを教えてもらっている児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	30.7%	30.7%				40.0%	評価不可
		中学校	21.1%	21.1%				30.0%	
	実績	小学校		－					
		中学校		－					
	指標の見直し	令和5年度学力学習状況調査において設問が削除されたため、「放課後子ども教室の登録率（登録数/児童数合計）及び参加した児童の延べ人数」に指標を変更する。							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画		21.4%	21.4%				30.0%	B
	実績			22.9%					
	指標の見直し	－							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・放課後子ども教室をはじめとする地域学校協働活動の推進に努めており、放課後子ども教室についてはR4と比較し、参加率が36.4%から41.9%へ上昇している。また、子ども会育成会連絡協議会、青少年指導員、スポーツ推進委員会合同による事業を開催するなど、青少年の健全育成に繋がる取り組みを実施し、各団体の強みを生かした連携が図られた。 ・町民大学については、多様な学習講座の実施に加えて、多世代の交流の場となるような講座を開催したことで、R5は参加者同士での継続学習につながった講座もあり、生涯学習の推進が図られている。
	今後の課題	<u>地域学校協働活動推進員、各種団体との協力や連携、情報提供を継続して行う必要がある。</u>
	改善点 及び今後の方向性	・関係者や関係団体との協力や連携、情報提供を継続して行うとともに、<u>社会情勢や町民ニーズを踏まえた取り組みを進める。</u> ・施策の進捗をより詳しく計測するため、重要業績評価指標（KPI）に、①にのみや町民大学の申込状況（申込者数/定員数）を加える。
	総合評価	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3-① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(2)図書館事業の推進			評価者	生涯学習課				
施策内容	赤ちゃんからお年寄りまで誰でも気軽に利用できる図書館として、図書館サービスの充実を図ります。町民の「知の拠点」として、本や情報を活用した学びを支えるとともに町民と地域の生き生きとした活動につなげます。 特に、子どもの読書習慣の定着を図るため、様々な形で図書館に親しむきっかけを作り、図書館利用を促進します。								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明				
	1	幅広い世代の利用促進【重点事業】	－	②想定レベル	子どもや子育て世代向けの事業を行い、利用促進に努めた。 新たに夏休み期間の「放課後子ども教室」で図書館ツアー等を実施し、子どもが図書館に親しむきっかけ作りに取り組んだ。 各年齢層を対象として資料展示やSNS等での資料紹介を行った。 様々なテーマで行う資料展示は利用者に好評である。				
	2	図書館資料の充実と利用しやすい環境づくり	－	③限定的	定期的な受入と除籍により、資料の鮮度維持に努めたが、入館者数の増には繋がらなかった。				
	3	町の歴史や文化、ゆかりの人物に関する情報と資料の収集活用	－	③限定的	行政資料や、「二宮ゆかりの人物」に関する資料の収集を行い、図書館だけでなくのゆかりの人物紹介を行ったが、直接入館者数の増に寄与できたとは言えない。				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	図書館年間入館者数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	174,944人	174,944人				175,000人	B	
	実績		138,123人						
	指標の見直し	－							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	読書が好きと回答した児童生徒数（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	70.2%	70.2%				75.0%	A
		中学校	63.9%	63.9%				70.0%	
	実績	小学校		72.8%					
		中学校		65.7%					
	指標の見直し								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<u>子ども・親子向け行事の実施、資料の充実・紹介に取り組んだ。また、職業体験や見学の受け入れ、学校と連携した資料展示など、小中学生への利用促進に努めた。新たに「放課後子ども教室」と連携した取り組みを行った。</u>	
	今後の課題	<u>幅広い年齢層の図書館利用促進に継続して取り組む必要があるが、小学校高学年や、成人を対象とした講座や講演会を実施することができなかった。</u>	
	改善点及び今後の方向性	<u>既存事業の対象年齢層とは異なる年齢層を対象とした事業を開催するなど、日常的に図書館を利用しない町民や、様々な世代が利用するきっかけ作りに取り組む。</u>	
	総合評価		B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3-① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(3)二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供					評価者	生涯学習課		
施策内容	各種文化・芸術団体やスポーツ団体と連携、協働、支援するとともに、各施設の適切な管理運営に努め、町民が様々な文化や芸術、スポーツに触れる機会を提供します。 また、長い歴史の中で培われてきた貴重な有形・無形の文化財を保護・保存していくとともに、町民への普及・啓発活動に努め、郷土に対する意識を育みます。								
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明		
	1	文化芸術及びスポーツの振興・支援【重点事業】		－	②想定レベル		文化団体やスポーツ協会と連携し、各種イベントを実施することで、文化や芸術スポーツに触れる機会に繋がれた。		
	2	歴史や文化の保護と普及啓発【重点事業】		－	②想定レベル		民俗芸能のつどいを開催するとともに、文化財に関する展示を行うことで、文化財保護意識の啓発に繋がった		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	文化祭来場者数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	4,273人	4,273人				4,500人	B	
	実績		4,226人						
指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	ピアノマラソンコンサート参加者数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	80組	80組				80組	B	
	実績		74組						
指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	民俗芸能のつどい観覧者数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	405人	405人				500人	A	
	実績		590人						
指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	52.4%	52.4%			55.0%	B	
		中学校	34.0%	34.0%			35.0%		
	実績	小学校		48.3%					
		中学校		23.6%					
指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	体育施設（武道館、体育館、運動場、テニスコート、山西プール、温水プール）の個人入場者数および利用登録団体数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	210,757人	210,757人				210,000人	評価不可	
		4,894団体	4,894団体				4,800団体		
	実績		137,233人						
		5,005団体							
指標の見直し	温水プールを令和6年3月31日をもって廃止にすることに伴い、対象施設から温水プールを削除し、指標を変更する。【対象・基準値・目標値見直し】								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<u>・文化祭やピアノマラソンコンサートの開催、スポーツフェスティバルへの協力などにより、町民が文化や芸術、スポーツに触れる機会の提供に努め、多くの町民の参加や来場に繋がった。</u> <u>・民俗芸能のつどいの開催などを通じて、地域の歴史や文化の普及啓発に取り組むことで、町民の歴史・文化に対する理解に繋がった。</u>	
	今後の課題	<u>歴史や文化、芸術、スポーツに触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。</u>	
	改善点及び今後の方向性	<u>・各種団体と連携、協働、支援や、活動の場となる施設の適切な管理運営に継続して取り組む。</u> <u>・重要業績評価指標（KPI）⑤について、温水プール廃止に伴い、指標を変更する。</u>	
	総合評価		B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3-② 社会教育施設の管理運営
-------	-----------------

施策評価

施策	(1)各施設の適切な維持管理と運営				評価者		生涯学習課	
施策内容	長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、生涯学習センターラディアンやスポーツ施設など社会教育施設の計画的な修繕・改修に取り組み、安全安心な環境整備に努めます。 また、生涯学習センターラディアン及び図書館の改修に向け、事前周知も含めた準備の検討を進めるとともに、他の施設についても「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」に基づいて、町関係部署と連携した取り組みを進めます。							
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明		
	1	安全安心な環境整備と適切な施設運営【重点事業】	－	②想定レベル		不具合箇所の修繕を適時に行うなど、安全安心な環境整備に努めた。		
	2	生涯学習センターラディアン及び図書館の改修に向けた検討	－	②想定レベル		大規模改修の基本設計を進めた。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	「二宮町教育等施設長寿命化計画（個別施設計画）における健全度D判定評価の対応状況（対応済み数／D判定評価数）」						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	0／4	0／4				4／4	B
	実績		0／4					
	指標の見直し	温水プールを令和6年3月31日をもって廃止にすることに伴い、対象施設から温水プールを削除し、指標を変更する。【対象・基準値・目標値見直し】						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・<u>不具合箇所の修繕を行い、安全安心な環境整備に取り組んだことで、利用者の利便性が保たれた。</u> ・<u>D判定4か所のうち、1か所（屋根・屋上）が該当する生涯学習センターラディアンは、施設再編課とともに基本設計を進め、リニューアル工事に向けたコンセプトをまとめることができた。</u> ・<u>D判定4か所のうち、3か所（内部仕上げ、電気設備、機械設備）が該当する町民温水プールは、令和5年度末をもって廃止した。</u>
	今後の課題	・<u>安全安心な環境整備に継続して取り組む必要がある。</u>
	改善点 及び今後の方向性	・<u>不具合箇所の早期発見と対処を行い、安全安心な環境整備に取り組む。</u> ・<u>生涯学習センターラディアン及び図書館の改修については、工事に向け実施設計を着実に進める。</u>
	総合評価	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和５年度実績）

基本方向性	3－③ 社会教育に関する情報発信の強化
-------	---------------------

施策評価

施策	(1)情報発信の強化				評価者		生涯学習課	
施策内容	町民が等しく生涯学習の機会を得られるよう、二宮町ホームページや広報紙等を通じて、学習・文化、スポーツ等の情報を積極的に発信していきます。							
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明	
	1	二宮町ホームページや広報紙等の積極的な活用		－	③限定的		ホームページやFacebookを活用し、時機を得た情報発信に努めたが、新聞等のメディア掲載には繋がらなかった。	
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名		生涯学習課からの情報発信に基づく新聞等への掲載数					
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	14件	14件				20件	C
	実績		8件					
	指標の見直し	－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	生涯学習課の事業や取り組みについて、地元情報誌に8回掲載された。また、年度末までに町Facebookに34件投稿した。	
	今後の課題	積極的な情報発信に継続して取り組む必要がある。	
	改善点及び今後の方向性	記者発表なども活用しながら、積極的な情報発信に継続して取り組む。	
	総合評価		C

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

第3章 外部評価意見

評価委員 吉田 賢治

評価内容

第2章 教育委員会における主要事業について

1 豊かな人間性と社会性を育むとともに、自ら考え生きる力を育てます

①—(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進

- 1 言語活動の充実においては、KPI を見ると小学校では、①②ともに増加しているが中学校では減少しています。要因は多様であり、地域や学校区の特性も関係していると思われるが、今後の方向性を模索しつつ、小中一貫教育「にのみや学園」としての分析と対応が必要と考えます。
- 2 情報活用能力に育成においては、③④ともにほぼ目標達成しております。児童生徒の ICT に対する興味関心の深さと、施設設備の充実や教職員による工夫改善の成果だと思えます。今後の増々の充実に期待します。
- 3 英語教育推進事業においては、⑤について、英検 3 級取得率は昨年度減少しましたが今年度も減少しています。英語の授業が楽しいと感じる児童生徒の割合は全国平均よりも高い中で、達成状況は C 評価を受けています。その背景を調査、分析して今後の受験者数の増加や英語能力のレベルアップに期待します。小学校の英語教科採用にともない小中学校の連携が重要であり、9 年間を見通した取り組みに期待します。
- 6 「知育、徳育、体育」最近では「食育」の授業が見直されていますが、体育分野の充実をお願いします。令和 6 年 2 月定例会議議事録の資料 2 全国体力、運動能力、運動習慣等調査まとめでは、「運動が好き」や「卒業後も運動したい」と肯定的な回答が全国の結果を上回っています。専門教員の採用や適正配置を実践して、児童生徒のスポーツ好きを増やしたり、体育嫌いを減らしたりするなど、生涯を通じて運動に親しむ習慣を育てることが大切であり、学校体育は生涯体育につなげる重要な役割を担っていると思えます。町内スポーツイベントの縮小や廃止は今のスポーツ行政のあり方が問われています。今後を見据えた「にのみや学園」の楽しく、活発かつ積極的に参加できる学校体育に期待します。

②—(1)小中一貫校教育の推進

- 1 小中一貫教育カリキュラムの研究の推進においては、KPI を見ると①では小学生で増加、中学生で減少、②では小学生が増加、中学生は横ばい状態であり、小学生は学校へ行くのが楽しく、授業も好きであるが、中学生は学校へ行く楽しみが減っていて気になるところである。年齢や地域、学校区の特性も考えられるが、調査分析して頂き「にのみや学園」の発展を期待します。
- 4 郷土理解の推進による郷土愛の育成においては、④の A 評価を高く評価します。総合的な学習の時間のみならず、社会科副読本のデジタル化による全学年が活用して学習することで、自然豊かな二宮の郷土を大切にすると、防災意識を高め、自助・共助の出来る児童生徒の育成に期待します。

②—(2)コミュニティ・スクール運営の促進

- 1 学校運営協議会の円滑な運営のための支援においては、今までは学校単位で行っていたが、今後は合同開催していくことで地域や学校区の特性に配慮しつつ相互理解を深め、工夫改善を図っていただきたい。また人材の育成や確保、人件費の予算化や備品用具の整備充実など、長期的な視点で運営することを期待します。

2 未来に向けた学習環境と安心して学べる教育環境づくりを進めます

①—(1)支援が必要な児童生徒への対応の充実

- 1 教育相談(就学相談含む)の充実においては、③④とも増加傾向にあり児童生徒が抱える多種多様な問題について、教職員、SC、SSW等の関係職員が連携強化に努め、早期発見、早期支援に努めて頂き、不登校やいじめ問題の未然に防ぐ取り組みに期待します。
- 6 中学校の制服の在り方検討においては、教育委員会議事録の令和5年6月5日報告協議事項(3)児童保護者へのアンケートを実施しました。集計結果を慎重に分析し検討頂いて、今後のアンケート内容の充実に努め、「にのみや学園制服の在り方検討会」で慎重審議頂き制服の決定をお願いします。

①—(2)教職員の働き方改革の推進

- 1 働く場としての環境整備においては、KPI①を見ると中学校では達成状況を大幅に上回り且つ増加している。「学校の働き方改革に関する基本方針」を踏まえ、勤務実態の把握や勤務時間の改善に努め「生きがい、やりがい」のある環境づくりに努めて頂きたいと思ひます。
- 2 部活動の地域移行に向けた検証においては、令和5年第3回二宮町総合教育会議3 協議調整事項(1)部活動の地域移行についての活動アンケートまとめの中で、「教員が土日の業務から離れ休む時間が確保できた」や「日頃の業務を見直すきっかけになった」と答え、参加した生徒からは技術の高い指導を丁寧に受けて満足したと、答えています。地域移行に向けては競技種目により大きなバラツキがあり多くの問題を抱えているが、行政、教師、生徒、保護者が情報を共有して実態に即した柔軟な取り組みに期待します。

②—(1)健康・安心教育の充実

- 3 学校給食センターにおける取り組みにおいては、KPI②について町全体が食育に対する意識が高いことが伺えます。今後も学校給食の場を活用して地産地消の食文化と、食育の重要性を児童生徒に継承して頂きたい。

3 町民が主人公となる、文化やスポーツなど生涯学習の振興を進めます

①—(1)社会教育事業の推進

- 1 コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進においては、今まで各学校単位で活動していた協議会が、令和5年より「にのみや学園」として今後の8年間を見通した学校運営協議会を運営するにあたり、従来5校で実施して来た活動内容を共有して工夫改善を図り、児童生徒の交流の場を引き続き発展させて頂きたい。

①—(3)二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供

- 1 文化芸術及びスポーツの振興・支援においては、KPI④小学生、中学生共に減少している

が、特に中学生は顕著である。要因は年齢的なものを含め多種多様と考えられるが、⑤も含めてコロナ禍を境に文化芸術・スポーツ参加者は減少、特にスポーツイベントの参加者は減少している。各イベントの中止や廃止も大きな要因だと思います。各種イベントの開催や継続は町や地域の活性化に大切な行事だと思います。児童生徒も含め、楽しく興味深いイベントが開催されることを期待します。

②—(1)各施設の適切な維持管理と運営

- 1 安心安全な環境整備と適切な施設運営においては、温水プールが廃止になり目標値を変更しましたが、長寿命化計画に基づき利用者の安全確保に引き続き取り組んで頂きたい。

今年度の二宮町教育委員会点検及び評価は、二宮町教育大綱に基づいて取り組むべき施策及び主な事業 14 を二宮町教育委員会基本方針に位置づけ評価対象としています。

○指標 KGI、KPI を設定して数値化しているので具体的にわかりやすい評価方法になっている点を評価します。次年度への取り組みにつながりやすいと思います。

○新しい評価方法ですから、初めて見る教育委員会外部の人にもわかりやすいような説明を加えるといいと思います。

○評価対象は 14 の施策になっていますが、現実の教育活動の中で 14 の施策に入らない内容もあることをふまえ、教育委員会におかれましては、常に教育活動の全体を見る視点を持ち続けていただきたいと思います。

○第 2 章教育委員会における主要事業点検評価において「評価指標の見直し」が多くの項目で見られるのは、この評価法を設定して初年度の令和 5 年度で気づいた事項と思われるので、早急に見直しいただき、令和 9 年度の達成目標値に向けて令和 6 年度以降、取り組みやすくしていただきたいと思います。

第 1 章について

・おおむね順調である、という評価です。

「将来に夢や希望を持っている児童生徒」が小学校で増加、中学校で減少です。特に中学校での減少はその理由を解明し、解決していくようにしていただきたいと思います。そのように「二宮町教育委員会点検及び評価」を実効性のあるものにしていくとよいと思います。

・14 施策のうち B 評価（達成値 99%～70%）が 11 事業です。その事業の内訳が児童生徒の学習活動、学校活動に関わる施策が多く入っていますので、事業によっては評価指標の見直しをすることになっていますが、よい数値を出すための活動にならないよう、児童生徒の成長のためになるような、また実際の教育活動の場面での取り組みが現れるような見直しを進めていただきたいと思います。

・教育委員会の活動については、学校訪問は、実際の教育活動や教職員、児童・生徒に接する事ができる貴重な機会だと思います。継続していただきたいと思います。

・教育委員会の活動で、総合教育会議についてですが、実際に機能するように、特に小中一貫教育、不登校対策、ICT 教育、部活動、学校教育や社会教育の情報発信については二宮町全体で考える必要のある内容として取り組んでいただきたいと思います。「二宮町の教育の特色」を打ち出せる場ではないかと考えます。

第 2 章について

基本方向性 1－①（1）学習のための大切な施策と考えますので、基準値より下回った施策については検討してその理由を明らかにして次年度につなげてほしい。「B」評価と安心するのではなく、B 評価は 70%以上～99%の達成値なので幅が広いので KPI の「実績」数値を目安にして具体的に検討していただきたい。指標の見直しの結果指標が変わるのは来年度なので、今年度は令和 5 年度の振り返りが大事だと思います。

基本方向性1－②(1) 学校の枠組みを作る施策なので、達成状況「A」については良かった面の確認を、「B」については、特に「学校に行くのが楽しいかどうか」については中学校において振り返りが大事だと思います。原因を掴み問題を解決してほしいと思います。

基本方向性1－②(2) 次の1－③(1)と共に「B」なのは地域との関係もあり、現状では情報発信の限界もあると思います。今後は情報発信の新しい工夫と、同時に今までの取り組みの継続を必要とする分野と思います。地域と共にある学校づくりを目指していただきたいが、それは学校・教育委員会・二宮町から地域への働きかけが必要です。

基本方向性2－①(1) 指標4つのうち令和5年度の達成状況は「B」「B」「C」「C」であり、総合評価は「B」ですが、早急に取り組まなくてはならない事業だと思います。SC、SSWの適正配置、支援教育補助員、医療的ケア看護職委員の配置と成果がありますが、課題も多く、「今後の課題」にあるように教職員全体の正しい理解を基に、教育環境の整備を進めてほしいと思います。支援を必要とする児童生徒は特殊な存在ではなく、誰しもが支援を必要とする存在になる可能性があるからです。不登校は学校や教育委員会だけでなく二宮町の関係部署、地域との連携が必要だと思います。

基本方向性2－①(2)・改善点及び今後の方向性にあるように、改善できることから一つ一つ取り組んでいくようお願いいたします。方向性が出ているので、特に現場の工夫によるところが大きいかと思います。

- ・時間外勤務の時間が多いほど高ストレスを感じているようです。

基本方向性2－①(3) 成果、今後の課題、改善点及び今後の方向性の通りと思います。研修を通して教職員の指導力が向上し、ひいては働き方改革につながるよう、取り組んでいただきたいと思います。

基本方向性2－①(4) 目標とする成果「A」が出ています。安心して学べる学校施設の整備を引き続きお願いいたします。

基本方向性2－②(1)・安全安心な学校は基本中の基本なので総合評価「A」でよかったと思います。

- ・登下校の通学路の現状は変化するので、定期的な現状把握をお願いいたします。

- ・「毎朝、朝食を食べている児童・生徒の割合」は100%ではないので、今6～7%だけれど、今後増えると思われる「毎朝朝食を食べられない子供たち」をどうするかについて教育委員会だけでなく二宮町で考えていく段階に入っていると思います。

- ・給食の取り組みに成果を出しています。

- ・改善点及び今後の方向性の、令和6年度からの中学校の給食費無償化開始は素晴らしいと思います。

基本方向性3－①(1) 社会教育事業は多方面に広がっているので、改善点及び今後の方向性にあるように関係者や関係団体との連携は必要です。学校に関係するものについては教育委員会が先導する必要がある可能性について考えていただきたい。そうすれば施策内容が関係者に伝わりやすく理解されれば協働がスムーズになり成果につながりやすいと思います。

基本方向性3－①（2）読書について工夫がされていて内容として読書好きな児童生徒が増えていることはよいことと思います。読書についての工夫の中では放課後子ども教室との連携がよいと思いました。また基本方向性1－①（1）にあるように中学校で朝読書を推進し読書の機会を充実させていることも読書についての工夫の一つだと思います。

基本方向性3－①（3）二宮町には誇れる文化会館ラディアンがあるので、文化・芸術に特に若い人に多く触れてほしいと思います。スポーツ施設については老朽化、廃止が続いているので、これからの課題だと思います。

基本方向性3－②（1）改善点及び今後の方向性にあるように環境整備を順調に進めてほしいと思います。

基本方向性3－③（1）情報発信は、1－③（1）の学校教育に関する情報発信でも課題になっています。ホームページのアクセス数だけに頼らずに新しい発想や工夫が必要な分野と思います。教育委員会だけでなく二宮町全体の問題として取り組んでいく分野と思います。

評価を終えて

二宮町教育大綱（令和5年度～令和9年度）に基づき初年度の令和5年度に取り組まれた施策の評価が、次年度令和6年度にさらに実りのある教育活動になって生きることを期待しています。

参考資料

■地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

■二宮町教育委員会点検及び評価実施規則

公布 平成 26 年 7 月 25 日

改正 平成 27 年 3 月 27 日

（趣旨）

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条の規定に基づき、二宮町教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施することに関し必要な事項を定める。

（点検及び評価の実施）

第2条 点検及び評価は、実施年度の前年度における教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、行うものとする。

（点検及び評価の対象）

第3条 点検及び評価の対象は、教育委員会の活動及び二宮町教育委員会基本方針等に基づいて教育委員会が実施する施策等とする。

（評価委員）

第4条 教育委員会は、点検及び評価を透明性及び客観性を持った適正なものとするため、二宮町教育委員会評価委員(以下「評価委員」という。)を置く。

2 評価委員は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 評価委員は2名とし、教育に関して公正な意見を述べる事が期待できる者の中から、教育委員会が委嘱するものとする。

（評価委員の任期）

第5条 評価委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 評価委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（点検及び評価の手順）

第6条 点検及び評価を実施するにあたっては、教育委員会各課がその所管する第3条に掲げる事項について行うものとする。

2 教育委員会は、前項の点検を基に、評価委員の意見を聴いたうえで、教育委員会議に諮るものとする。

3 教育委員会は、評価委員の意見も含めた二宮町教育委員会点検及び評価報告書を別に定める要領により作成し、二宮町及び二宮町議会へ提出するとともに、町民に公表するものとする。

（点検及び評価結果の活用）

第7条 点検及び評価の結果は、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用するものとする。

（その他）

第8条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

■二宮町教育委員会点検及び評価実施要領

公表 平成 26 年 8 月 29 日

(趣旨)

第 1 条 この要領は、二宮町教育委員会点検及び評価実施規則（以下「実施規則」という。）に基づいて実施する二宮町教育委員会点検及び評価の具体的な方法について必要な事項を定める。

(評価事項)

第 2 条 評価事項は、次に掲げる項目とする。

- (1) 教育委員会議、学校訪問、研修及びその他教育委員が直接関与している事業の活動状況
- (2) 教育委員会が管理及び執行している事業並びに教育長に委任している事務のうち、重点施策及び主たる取り組み
- (3) その他、教育委員会が特に記載するもの

(評価の観点)

第 3 条 評価の観点は、教育委員会の行う活動として適正か、目標とする効果が得られているか、コスト意識を持って取り組んでいるかを主たる観点とし、総合的に評価する。

(評価の基準)

第 4 条 点検評価においては、評価の観点を元に、評価対象について、次の区分により評価する。

評価	評価基準
A	目標とする成果が得られた。 または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B	おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C	取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D	取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

(報告書の作成要領)

第 5 条 実施規則第 6 条第 3 項に基づき作成する二宮町教育委員会点検及び評価報告書（以下「点検及び評価報告書」という。）は、施策評価シート（別紙 1）により作成するとともに、次に掲げる項目について掲載するものとする。

- (1) 点検評価対象年度の教育委員会基本方針
- (2) 点検評価対象年度末時点の教育委員の一覧
- (3) 第 2 条で定める評価事項に関する項目
- (4) 評価委員からの点検及び評価意見

(公表)

第6条 点検評価の町民への公表については、点検及び評価報告書を公告するとともに町ホームページに掲載することにより行う。

(その他)

第7条 この要領の実施にあたり、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

別紙 1

施策評価シート（年度実績）

基本方向性										
施策評価										
施策								評価者		
施策内容										
主な関連事業	予算等事業名				＜参考＞ 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明			
	1									
	2									
	3									
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名									
		基準値	年	年	年	年	目標値 (年)	年達成状況		
	計画									
	実績									
	指標の見直し	—								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名									
		基準値	年	年	年	年	目標値 (年)	年達成状況		
	計画									
	実績									
	指標の見直し	—								
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名									
		基準値	年	年	年	年	目標値 (年)	年達成状況		
	計画									
	実績									
	指標の見直し	—								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重 点事業の評価】	成果										
	今後の 課題										
	改善点 及び今後 の方向性										
	総合評価										

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

条例・規則等の一部改正についての要点シート

条例・規則 等件名	二宮町特別支援教育就学奨励費交付要綱の一部 を改正する要綱
施行予定 年月日	令和 6 年 1 0 月 1 日
改正概要（改正条文、改正内容、改正理由を具体的に明示する）	
改正の条文 別記様式（第 4 条関係） 改正内容 ・所得控除欄に小規模企業共済等掛金控除と雑損控除の額を追加する。教育 扶助基準に教材代の額を追加する。生活扶助基準に障害者/母子加算額を追 加する。生活扶助基準計に第 1 類における逓倍率を追加する。 改正理由 ・特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令第 2 条の規定に基づく保護 者等の属する世帯の収入額の算定及び需要額の測定要領が改正されたこと に伴い、別記様式を改正し、収入額の算定方法の改正に対応した様式にす る。	

改正後

注：なお、前記支店教育実習生等の名簿にあり、町立高校の指導員を 解任する場合がありますことに留意します。											
年					月		日		氏名		

金融機関名										支店名									
☐ 当座 ☐ 普通 ☐ 定期										☐ 当座 ☐ 普通 ☐ 定期									

※各年度の繰上金の記入をお願いします（前年度繰上りでも繰上りのため記入してください）

改正前

[illegible]

条例・規則等の全部改正についての要点シート

条例・規則 等件名	二宮町学校給食費取扱い要綱の一部を改正 する要綱
施行予定 年月日	令和 6 年 1 0 月 1 日から
改正概要（改正条文、改正内容、改正理由を具体的に明示する）	
改正理由 「食物アレルギー調査票」のⅤ①「牛乳給食の中止」項目について、様々な理由で給食の牛乳を中止する児童・生徒が増えていることに伴い、本来「食物アレルギー調査票」は給食の牛乳を中止するためのものではないため、給食センターと学校事務との連携が円滑になるよう様式を見直し、第 5 号様式を改正する。	

二宮町学校給食費取扱い要綱の一部を改正する要綱の新旧対照表

改正後

第 5 号様式（第 7 条関係）

※ その他書ききれないことがありましたら、こちらにご記入ください。

食物アレルギー調査票

児童生徒氏名

保護者氏名

小学校	第1学年	組	番
	第2学年	組	番
	第3学年	組	番
	第4学年	組	番
	第5学年	組	番
	第6学年	組	番
中学校	第1学年	組	番
	第2学年	組	番
	第3学年	組	番

改正前

第 5 号様式（第 7 条関係）

※ その他書ききれないことがありましたら、こちらにご記入ください。

食物アレルギー調査票

児童生徒氏名

保護者氏名

小学校	第1学年	組	番
	第2学年	組	番
	第3学年	組	番
	第4学年	組	番
	第5学年	組	番
	第6学年	組	番
中学校	第1学年	組	番
	第2学年	組	番
	第3学年	組	番

二宮町学校給食費取扱い要綱の一部を改正する要綱の新旧対照表

[illegible]

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

二宮町教育委員会

1 はじめに

令和6年4月に実施された「令和6年度全国学力・学習状況調査」について、このみや学園二宮町立小・中学校の調査結果の概要をお知らせします。二宮町教育委員会では、調査結果及び課題等を公表することにより、町民の皆様をはじめ児童生徒に関わる様々な立場の方に関心をもっていただき、二宮町の学校における教育指導の充実や児童生徒の学習意欲の向上につなげていきたいと考えております。

本調査の結果は町全体のものであり、各学校や児童生徒個人の学力や学習状況を表すものではありません。また、本調査は児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面の結果です。

町民の皆様におかれましては、本調査の目的及び結果公表の趣旨をご理解いただくとともに、数値結果だけを重視するのではなく教育の過程も考慮いただき、本町の児童生徒の健全育成のために公表資料を有効にご活用くださいますようお願いいたします。

2 調査の概要

(1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・以上のような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の内容

- ・教科に関する調査（国語、算数・数学）
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

(3) 実施期日

令和6年4月18日（木）

(4) 調査を実施した児童生徒数

小学校 6年生 187人（3校合計）

中学校 3年生 179人（2校合計） ※数学については178人

3 調査の結果について

(1) 教科に関する調査の成果と課題等について

〔小学校〕

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語	9.3 問／14 問	67%	10.0 問	3.0
算数	9.9 問／16 問	62%	11.0 問	3.9

〔中学校〕

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語	8.9 問／15 問	59%	9.0 問	3.4
数学	9.0 問／16 問	56%	9.0 問	4.1

※ 平均正答数：児童生徒の正答数の平均。（正答数の平均／総問題数）

平均正答率：児童生徒の平均正答数を百分率で表示。ただし、小数点以下第1位の数値を公表することで、数値データによる単純な比較が行われ、序列化や過度な競争を助長する一つの要因として考えられることから、文部科学省は都道府県別の平均正答率を整数値で公表。都道府県に対しても同様の配慮を求めていることから、二宮町の平均正答率も小数点以下第1位を切り捨てて表示。

中 央 値：集団のデータを大きさの順に並べたときに真ん中に位置する値。

標 準 偏 差：集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。標準偏差が0とは、ばらつきがない（データの値が全て同じ）ことを意味する。

【小学校国語】

分類		区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
				二宮町	全 国
全 体			14	67.0	67.7
学 習 指 導 要 領 の 内 容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	62.6	64.4
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	89.3	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	71.1	74.6
	思考力、判断力、表現力 等	A 話すこと・聞くこと	3	59.2	59.8
		B 書くこと	2	71.7	68.4
		C 読むこと	3	66.8	70.7
評価の観点		知識・技能	6	68.4	69.8
		思考・判断・表現	8	65.2	66.0
		主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式		選択式	10	69.5	69.9
		短答式	2	58.3	59.7
		記述式	2	60.4	64.6

【中学校国語】

分類		区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
				二宮町	全 国
全 体			15	59.0	58.1
学 習 指 導 要 領 の 内 容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	3	57.9	59.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	59.2	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	79.3	75.6
	思考力、判断力、表現力 等	A 話すこと・聞くこと	3	60.7	58.8
		B 書くこと	2	68.2	65.3
		C 読むこと	4	49.6	47.9
評価の観点		知識・技能	6	61.9	62.0
		思考・判断・表現	9	57.4	55.4
		主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式		選択式	9	63.3	61.0
		短答式	3	61.1	61.8
		記述式	3	45.3	45.5

○平均正答率は、小中学校ともに全国平均程度です。

○「B書くこと」の領域において、小中学校ともに全国平均を上回っています。

●小学校においては、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることについて課題が見られます。

●中学校においては、文脈に即して漢字を正しく書くことについて課題が見られます。

【指導の改善が求められる問題】

	問題 番号	平均正答率(%)		問題の概要	出題の趣旨
		二宮町	全 国		
小学校	3 三	66.3	72.6	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかをみる
中学校	3 三	62.6	68.8	漢字を書く(みちたりた)	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかをみる

【国語の質問項目について】

質問項目	小学校		中学校	
	二宮町	全 国	二宮町	全 国
国語の勉強は好きである。	61.3	62.0	65.0	64.3
国語の勉強は大切だと思う。	94.2	94.5	93.0	93.9
国語の授業の内容は、よく分かる。	84.8	86.3	83.9	82.7
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	93.7	93.2	90.9	90.6
国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理している。	78.0	78.3		
国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えている。	80.6	80.0		
国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている。	85.3	83.2		
国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している。	85.9	84.4		
国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解している。			78.5	78.7
国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。			83.8	80.5
国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いている。			72.0	76.7
国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。			84.5	82.0

○多くの項目で二宮町の結果は全国平均と非常に近い、もしくはそれを若干上回っています。

○「国語の重要性や将来に役立つ。」と回答している小・中学生の割合は非常に高く、小中学校ともに90%以上の児童生徒が大切だと考えています。

○「国語の授業の内容がよく分かる。」と回答している小・中学生の割合は高く、小中学校ともに80%以上の児童生徒が高い理解度を示しています。

○小学校では、読解や文章作成に関する項目で全国平均をやや上回っています。

○中学校では、話し合いを通して考えをまとめている生徒と、説明的な文章を読み目的に応じて要約し内容を解釈している生徒の割合が全国平均をやや上回っています。

●「国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いている。」と回答した中学生の割合は、全国平均を下回っています。

【小学校・算数】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
			二宮町	全 国
全 体		16	62.0	63.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	66.5	66.0
	B 図形	4	61.6	66.3
	C 測定	0		
	C 変化と関係	3	49.7	51.7
	D データの活用	4	61.6	61.8
評価の観点	知識・技能	9	73.6	72.8
	思考・判断・表現	7	46.8	51.4
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	75.9	75.3
	短答式	7	60.3	62.0
	記述式	4	47.1	51.0

【中学校・数学】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
			二宮町	全 国
全 体		16	56.0	52.5
学習指導要領の領域	A 数と式	5	54.6	51.1
	B 図形	3	44.2	40.3
	C 関数	4	66.0	60.7
	D データの活用	4	56.6	55.5
評価の観点	知識・技能	11	67.4	63.1
	思考・判断・表現	5	30.9	29.3
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	64.2	58.5
	短答式	6	70.1	67.0
	記述式	5	30.9	29.3

○平均正答率は、小学校は全国平均程度であり、中学校は 3.5%全国平均を上回っています。

○小学校では、「A数と計算」「Dデータの活用」は全国平均並みです。

○中学校では、「A数と式」「B図形」「C関数」については、全国平均を上回っています。

●小学校では、立方体の体積の求め方を式に表すこと、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述することや道のりと時間の関係について考察することについて課題が見られます。

●中学校では、与えられたデータから最頻値を求めることについて課題が見られます。

【指導の改善が求められる問題】

	問題番号	平均正答率(%)		問題の概要	出題の趣旨
		二宮町	全 国		
小学校	3(3)	27.8	36.5	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	球の直径の長さと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる
	3(4)	60.4	72.0	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く	角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる
	4(2)	59.9	70.0	3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる
中学校	7(1)	68.0	74.3	障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める	与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる

【算数（数学）の質問項目について】

質問項目	小学校		中学校	
	二宮町	全 国	二宮町	全 国
算数（数学）の勉強は好きである。	52.4	61.0	61.3	57.2
算数（数学）の勉強は大切だと思う。	92.6	94.6	83.9	87.2
算数（数学）の授業の内容はよく分かる。	76.9	82.1	76.9	75.7
算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。	95.3	94.1	71.5	78.5
算数（数学）の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えている。	81.1	77.9	52.6	57.2
算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えている。	83.3	83.3	80.6	78.1
算数（数学）の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。	57.6	63.6	36.1	46.0
算数（数学）の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている。	80.6	84.6	69.8	77.0

○「数学の勉強が好きである。」と回答した中学生の割合は、全国平均を上回っています。

○「算数の勉強は大切だと思う。」と回答した小学生の割合は、90%以上と高いです。

●「算数の勉強が好きである。」「算数の授業の内容はよく分かる。」と回答した小学生の割合は、全国平均を下回っています。

●「算数（数学）の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。」「算数（数学）の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている。」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。

今後の対応について

学校に対して、令和6年度全国学力・学習状況調査報告書（文部科学省 国立教育政策研究所 令和6年7月）に記載されている指導アイデア等も参考にして、授業の改善や指導計画に反映させていくことを求めています。 <https://www.nier.go.jp/kaihatu/zenkokugakuryoku.html> （国立教育政策研究所 HP）

（３）児童生徒質問紙調査の概況について

＜生活習慣や学習環境等に関する調査結果＞（抜粋）

※数値には、「どちらかといえばしている、どちらかといえば当てはまる、ときどきある」の回答を含む

１．生活習慣や学習環境等に関する調査結果（抜粋）

（１）基本的生活習慣等

No	質問項目	小学校		中学校	
		二宮町	全 国	二宮町	全 国
1	朝食を毎日食べている。	96.9	93.7	90.9	91.2
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	88.4	82.9	79.6	80.7
3	毎日、同じくらいの時刻に起きている。	93.2	91.6	91.4	92.5
4	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。	80.1	82.3	69.9	76.7
5	新聞を読んでいる。(ほぼ毎日と週に1～3回程度)	13.1	11.6	6.5	7.3

【主な特徴と考察について】

○朝食摂取や規則正しい就寝など規則正しい生活を送っている小・中学生の割合は、全国平均と同等、それ以上の良好な状況にあります。特に小学生の基本的生活習慣は非常に良好です。

●健康に関して学習したこと等を日常生活に活かすことについて、中学生において改善の余地があります。

●小・中学生の新聞を読む習慣については、全国と共に全体的に割合が低く、特に中学生で顕著です。

- ・引き続き、朝ごはんを摂ることや規則正しい生活を送る良さや習慣づけるよう指導していきたいと考えています。
- ・保健（体育）の授業では、健康について学ぶ機会があります。授業の中で、普段の生活にどう役立てるかを考える機会を設ける必要があります。
- ・情報を集める方法として、スマートフォンやタブレットを活用していることが多くなり、新聞を読む習慣が少なくなったと考えられます。

（２）放課後や週末の過ごし方（複数回答可）

No	質問項目	小学校		中学校	
		二宮町	全 国	二宮町	全 国
1	家で勉強や読書をしている	48.2	49.3	44.1	46.1
2	放課後子供こども教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している	11.0	5.7		
3	学校の部活動に参加している			75.8	71.1
4	地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)	6.8	4.4	3.8	3.9
5	学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	28.8	24.4	52.2	38.5
6	習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている	50.3	38.2	24.7	23.6
7	スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている	49.2	46.7	28.0	30.4
8	家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている	80.1	79.1	91.4	88.6

9	家族と過ごしている	64.9	65.6	71.5	68.0
10	友達と遊んでいる	69.6	64.2	66.1	62.3
11	1～10にあてはまるものがない。	1.0	1.3	0.5	1.2

【主な特徴と考察】

- 小・中学生の学習塾の利用が全国平均に比べ多く、特に中学生で高い割合です。
- 部活動へ参加する中学生の割合は、全国の平均に比べ多くみられます。
- メディア（テレビや SNS など）利用する中学生の割合は、全国平均を上回っており、90%以上と高い割合です。
- 「友達と遊んでいる」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。

（3）自己有用感、幸福感等

No	質問項目	小学校		中学校	
		二宮町	全 国	二宮町	全 国
1	自分には、よいところがあると思う。	85.4	84.1	82.3	83.3
2	将来の夢や目標を持っている。	79.6	82.4	63.4	66.3
3	人の役に立つ人間になりたいと思う。	96.3	95.9	93.0	95.2
4	学校に行くのは楽しい。	82.2	84.8	79.0	83.8
5	普段の生活の中で、幸せな気持ちになる。	91.1	91.7	90.9	89.8

【主な特徴と考察】

- 「人の役に立つ人間になりたいと思う。」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる。」と回答した小・中学生の割合は、90%以上と高い割合です。
- 「将来の夢や目標を持っている。」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。キャリア教育の推進が求められます。
- 「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。

- ・「人の役に立つ人間になりたいと思う。」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる。」と回答した児童生徒は、学校での委員会活動や係活動、人との関わりなど日頃に「人の役立つことができた」という小さな成功体験の繰り返しが原因の一つと考えられます。
- ・将来の夢や目標が持てるよう、キャリア教育を推進していきたいと考えています。
- ・「学校に行くのは楽しい」と思える学校づくりをするためには、子どもたち一人ひとりの思いに寄り添った対応をし、魅力ある学校づくりを進めていくことが必要であると考えられます。

（4）他者、地域や社会とのかかわり等

No	質問項目	小学校		中学校	
		二宮町	全 国	二宮町	全 国
1	人が困っているときは、進んで助けている。	89.6	92.7	93.5	90.1
2	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	89.0	89.9	92.5	90.4
3	いじめは、どんな理由があってもいけないと思う。	94.2	96.7	95.7	95.7
4	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	73.3	67.1	57.0	67.5

5	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。	80.1	75.8	74.1	76.2
6	友人関係に満足している。	89.5	91.1	85.5	90.1
7	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。	80.6	87.9	80.1	84.9
8	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	91.1	91.6	95.2	92.3
9	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	79.6	83.5	69.4	76.1

【主な特徴と考察】

○「人が困っているときは、進んで助けている。」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。」「いじめは、どんな理由があってもいけないと思う。」の小・中学生の割合は、およそ 90%と高い割合となっています。

●「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。」と回答している中学生の割合は、全国平均を下回っています。

●「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。」と回答している小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。

●「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。」と回答している小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。

- ・自分のよいところを探すためにも、生徒同士が互いのよさを発見し、認め合うことができる機会を日常的に取り入れられていると考えられます。
- ・生徒が困りごとや不安があった場合には、相談しやすい関係づくりや悩みを発信できるよう指導していくことが大切です。
- ・地域や社会の良さや課題を実感できる機会が必要です。また発達段階も考慮しながら地域の一員としての自覚を育むことが大切です。

(5) 学習習慣、学習環境等

No	質問項目	小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	
1	平日に学校以外で、1日あたりどれくらい勉強しているか。	3時間以上	8.4	11.0	19.4	9.2
		2～3時間	14.7	12.5	28.0	22.5
		1～2時間	23.6	31.1	19.9	32.6
		30分～1時間	27.7	27.0	14.0	18.4
		0分～30分	19.4	13.0	9.7	10.4
		まったくしない	6.3	5.3	9.1	6.6
2	休日に学校以外で、1日あたりどれくらい勉強しているか。	3時間以上	7.3	11.6	19.3	15.5
		2～3時間	7.9	9.9	17.7	20.7
		1時間～2時間	26.7	27.1	25.3	26.8
		1時間より少ない	36.6	36.2	23.1	23.1
		まったくしない	21.5	15.1	14.5	13.1
3	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている。	85.4	80.7	79.0	78.6	

【主な特徴と考察】

○平日に、「3時間以上」「2～3時間」勉強していると回答している中学生は、全国平均を上回っています。

○休日より平日のほうが、学習時間が多い傾向があります。

●平日、休日ともに勉強を「まったくしない」と回答した小・中学生は、全国平均を上回っています。

●中学生は、長時間学習する生徒と全く学習しない生徒の割合が全国平均より高いです。

- ・学習習慣を身に着けるために、家庭学習の必要性や取り組み方を教えていく必要があります。
- ・学習習慣の差が、学力の二極化につながる可能性があります。

(6) ICT を活用した学習状況

No	質問項目		小学校		中学校	
			二宮町	全 国	二宮町	全 国
1	授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか。	(ア)+(イ)	64.4	59.5	94.0	64.4
		ほぼ毎日 (ア)	14.7	25.3	76.3	31.0
		週3回以上(イ)	49.7	34.2	17.7	33.4
		週1回以上	26.7	26.0	3.2	24.6
		月1回以上	7.3	10.3	1.1	7.8
		月1回未満	1.6	4.2	1.6	2.8
2	ICT 機器の活用	自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。	84.3	85.5	87.1	80.2
3		分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。	90.5	92.1	97.3	93.9
4		楽しみながら学習を進めることができる	87.5	86.0	87.1	82.4
5		画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。	87.4	89.8	94.6	89.0
6		自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。	79.6	79.2	77.4	77.7
7		友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。	82.2	86.1	84.4	86.2
8		友達と協力しながら学習を進めることができる。	85.4	87.1	88.7	85.2

○「授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、「週3回以上」と回答した小学生、「ほぼ毎日」と回答した中学生は、全国平均を上回っています。特に中学生については、「週3回以上」と「ほぼ毎日」と回答した合計の割合は、94.0%と高いです。

○ICT の活用方法としては、「分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。」と回答した小・中学生の割合は、90%以上と高いです。

- ・ICT を活用した授業が展開されています。授業の目的に応じて ICT を効果的に使うにはどのようにしたらよいか引き続き研究し、授業改善に努めていく必要があります。

(7) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

No	質問項目	小学校		中学校	
		二宮町	全 国	二宮町	全 国
1	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	86.4	81.9	84.4	80.3
2	各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。	81.1	79.6	76.9	75.4
3	自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	85.3	84.3	79.0	80.9
4	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。	79.1	80.8	74.7	77.9
5	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う。	84.3	83.7	74.7	79.0
6	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	83.2	81.3	93.5	82.2
7	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	80.1	84.2	89.7	86.3
8	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。	80.1	82.5	77.9	80.6
9	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	86.9	88.2	95.1	91.7

主な特徴と考察

○「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。

○総合的な学習の時間で情報収集や発表などの学習活動に取り組んでいると回答している小・中学生の割合は、全国平均を上回っており特に中学生の割合は、90%以上と高い割合です。

○「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。」と回答している中学生の割合は、全国平均を上回り 95%以上と高い割合です。

- ・総合的な学習の時間や道徳の授業だけではなく、普段の授業から自分で考え話し合う活動を授業に取り入れ授業改善に努めてきました。
- ・今後も小・中学校の9年間の学習を見通して、小・中学校の先生でカリキュラム開発に努めます。

(8) 英語について

No	質問項目	小学校		中学校	
		二宮町	全 国	二宮町	全 国
1	英語の勉強は好きである。	71.2	69.3		
2	英語の勉強は大切だと思う。	95.3	92.1		
3	英語の授業の内容はよく分かる。	80.1	78.3		
4	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う。			89.3	83.3

5	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う。			89.8	85.6
6	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で) 自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う。			79.6	68.8
7	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思う。			86.5	82.4
8	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思う。			90.3	85.7

主な特徴と考察

○小・中学生ともに各項目について全国平均を上回る成果を上げています。

○中学校では、即興で英語を使う活動やまとまった内容を英語で発表する活動が多く設定されています。

○小学校での英語学習に対する肯定的な態度が、中学校での積極的な英語学習活動につながっていると考えられます。

・小学校と中学校の教員が一緒に英語研修会に参加し、授業改善に向けて話し合いを重ねています。また、互いの校種でどのように英語の授業を行っているかを把握することで、小・中学校での英語教育のつながりを意識して授業をしてきました。今後も小・中学校間の連携を意識して、英語の授業改善に努めていきます。

4. 本町の児童生徒質問紙調査と教科に関する調査のクロス集計結果

本町の児童生徒質問紙調査の結果と教科に関する調査結果との関係を見ると、次のように回答した本町の児童生徒が、教科（国語、算数・数学）の正答率が高い傾向が見られました。

小学校	中学校
・人の役に立つ人間になりたいと思う。 ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。 ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。 ・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。 ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。 ・国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理している。 ・国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えている。	・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている。 ・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。 ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。 ・国語の授業の内容は、よく分かる。 ・国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 ・数学の授業の内容はよく分かる。

5 今後に向けて

二宮町教育委員会では、本調査の結果の分析を行い、その結果を各学校に示しました。各学校では課題を明らかにして授業改善や学校経営に反映させています。

今後も、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりに努め、より効果的なカリキュラムマネジメントが行われるよう教育委員会は各学校を支援していきます。

本調査を通じて、基本的な生活習慣や学習習慣の確立、地域社会との関わりは学力向上及び児童生徒の健全育成に大切であることを改めて確認いたしました。小・中学校が9年間を見据え共通性と一貫性のある指導支援に取り組んでいきます。また、二宮町内のすべての小・中学校がコミュニティ・スクールになっています。コミュニティ・スクールとして学校、家庭、地域との協働をより一層充実させて効果的な教育活動を進めてまいります。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年11月教育委員会議定例会予定

- 1 日 時 令和6年11月28日（木）9時30分から
- 2 場 所 町民センター 2Aクラブ室
- 3 付議事項
 - （1）令和6年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について
 - （2）令和6年度二宮町一般会計補正予算について
- 4 報告・協議事項

※主な行事

- | | | |
|-----------|--------|----------------|
| 11月 7日（木） | 13時30分 | 学校訪問（一色小学校） |
| 11月28日（木） | 9時30分 | 教育委員会議定例会 給食試食 |
| | 13時30分 | 学校訪問（二宮小学校） |

■学校訪問（11月28日 二宮小学校）について

当日の議論を深めるため、事前に質問事項を集約します。以下の期日までに、ご報告をお願いします。

- ・ 報告方法 任意様式（メール本文への入力でも可）
教育指導課にメールで提出
(ninomiya-shidou@town.ninomiya.kanagawa.jp)
- ・ 報告期日 令和6年11月14日（木）
- ・ その他 集約した質問は、当日の学校からの説明または懇談の中で取り扱っていく予定です。（時間の都合により変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。）

